年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　工業：デュアルシステム　科目　インターンシップ

教　科：　工業：デュアルシステム　　科　目：　インターンシップ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　5 組

教科担当者：（　５組：野澤幸裕　渡辺伸宏　樋口和也　市村茉莉子　村里光貴　田村文　中村天奎　）

使用教科書：（　　）

教科　工業：デュアルシステム　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】企業において自分の能力や資質にあった活きた技術・技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】ものづくりの基本的な考えを身に付け、地域社会および企業等との連携を重視した実践力や専門性を高める。

【学びに向かう力、人間性等】社会の変化に対応できる能力や自ら学び、自ら考える能力を養う。

科目　インターンシップ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
インターンシップを通し、職業人として必要な知識・技術・技能を理解し、活用することができる。	インターンシップを通し、修得した知識・技術・技能をまとめ、他者に正しく伝えることができる。	インターンシップを通し、企業で求められる勤労観・労働観を有し、行動することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期							
2学期	1.インターンシップ受け入れ企業からの経営方針等が理解できる。 2. インターンシップ作業工程が理解できる。 3.インターンシップを実施するために必要な作業機器が理解できる。 4.インターンシップを実施するために必要な作業機器が理解できている。 5.インターンシップにおける作業の計画と準備ができる。	1.1「企業とは」について指導する。1.2企業の経営方針とその重要性を周知徹底させる。1.3企業の就業規則とその重要性を理解させる。 2.1製品が加工される流れを観察する。2.2作業工程を理解させる。2.3実習生が作業工程のどの部分を担当するか認識させる。 3.ものづくり機器の種類と用途について理解させる。 4.1ものづくり機器の使用方法を指導する。4.2ものづくり機器の点検の方法と重要性について理解させる。 5.1就業する上で計画を立てることの大切さを指導する。5.2就業計画をどのように論理的に作成するか考えさせる。5.3就業計画を実施する上で必要な作業機器・材料を準備させる。	1.遅刻、欠席、早退等の欠課数。 2.企業の担当者と教員の評価（評価表、企業訪問、電話連絡等での聞き取り、企業訪問時の就業の様子等） 3.報告書の記述内容や出来栄え	○	○	○	40
	1.インターンシップにおける作業及びその補助についての認識をすることができる。 2.企業の工場内外の清掃作業・整理作業をすることができる。 3.長期就業訓練に向けての準備ができている。 4.作業エリアの清掃・整理・整頓の実践ができる。	1.1各種作業の就業計画における位置付けを考察させる。1.2各種作業が就業計画とどのように連携しているか考えさせる。1.3各種作業に対する補助の仕方と内容について理解させる。 2.1ゴミを区分することにより資源とすることを学習する。2.2ものづくりによる環境保全について理解する。2.3清掃活動により「奉仕」に関する学習をする。 3.1長期就業訓練を実施するうえで必要な準備事項を周知させる。3.2長期就業訓練に向けてのインターンシップの就業計画とその内容について指導する。 4.作業エリアの清掃・整理・整頓の大切さを周知させる。	1.遅刻、欠席、早退等の欠課数。 2.企業の担当者と教員の評価（評価表、企業訪問、電話連絡等での聞き取り、企業訪問時の就業の様子等） 3.報告書の記述内容や出来栄え	○	○	○	40
3学期							
							合計 80